

科目名	情報処理 I Data Processing I	科目コード	41170
-----	-----------------------------	-------	-------

学科名・学年	物質工学科・2年
担当教員	細貝 和彦 (物質工学科)
単位数・区分	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳: 講義 20, 演習 8, 実験 0, その他 2】
教科書	1年次に使用したテキスト「情報処理の基礎」を使用する。
補助教材	配布プリント
参考書	① 伊東 章、Excel で気軽に移動現象論、丸善出版 (2014/9/21) ② 伊東 章、Excel で気軽に化学プロセス計算、丸善出版 (2014/7/26) ③ 神足 史人、Excel で操る! ここまでできる科学技術計算、丸善 (2009/9/30) ④ 山本 将史、Excel で学ぶ微分積分、オーム社 (2012/8/24) ⑤ 吉川 秀雄、エクセルによる樹脂流動解析 演習編、東京図書出版 (2014/2/10)

【A. 科目の概要と関連性】

今日ではコンピュータやネットワークの活用が豊かな生活の一助となっている。生活に、役立つソフトは種々あるが、ワードソフトを使った文章作成、表計算ソフトを使ったデータ管理、プレゼンテーションソフトを使った発表、説明ファイル作成などは、学校及び企業におけるレポートの作成に欠かせなくなっているのが現状であろう。本授業では、表計算ソフトであるExcelを使って、簡単なデータ処理法を中心として説明するとともに、情報処理の基礎技術の知識の習得、およびプレゼンテーションソフトであるパワーポイントの作製例に接することでパワーポイントの使用法の一部を習得する事を目的とする。

○関連する科目：基礎情報処理（前年度履修）、情報処理 II（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

到達目標：以下の項目の基本的特徴を理解し説明することができるようになること	評価の重み	学習・教育目標との関連	
1 Excel 表計算-四則演算	9%	(d1)	
2 Excel 表計算-IF 関数	17%	(d1)	
3 Excel 表計算-INDEX 関数	17%	(d1)	
4 Excel 表計算-INT 関数&COUNTIF 関数	17%	(d1)	
5 Excel 数理解析	40%	(d1)	
自分が到達した学習段階ごとに： 1) 学習した専門知識の全体像を系統的に説明することができる。 2) 専門知識の分野ごとに、代表的な例題を提示して解くことができる。 3) 取得した単位数や単位を取得した科目数にもとづいて、この目標の達成度を評価することができる。			

【C. 履修上の注意】

関連する科目の習得、聴講およびその周辺の科目の勉学も必要です。授業の説明において興味を持った事項は自主的に調査、勉学すること。

【D. 評価方法】

総合評価点は以下の①～③の項目（上限点を表記）の評点の合算。

- ① 定期試験（中間試験） : 35 点
- ② 定期試験（期末試験） : 50 点
- ③ レポート : 15 点

【E. 授業計画・内容】

● 後期

週	内 容	備 考
1	授業計画及び内容の説明+	
2	Excel 表計算-四則演算 演習	
3	Excel 表計算-IF 関数 演習①	
4	Excel 表計算-IF 関数 演習②	
5	Excel 表計算-INDEX 関数 演習①	
6	Excel 表計算-INDEX 関数 演習②	
7	Excel 表計算-INT 関数&COUNTIF 関数 演習①	
8	定期試験（中間試験）	
9	Excel 表計算-INT 関数&COUNTIF 関数 演習②	
10	Excel 数理解析 演習①	
11	Excel 数理解析 演習②	
12	Excel 数理解析 演習③	
13	Excel 数理解析 演習④	
14	Excel 数理解析 演習⑤	
—	定期試験（期末試験）	
15	試験解説と発展授業	